

1 1. 猿山 祈

首都直下地震における足立区の被害を減少するための取り組みと課題

要旨

本論文は、高い確率で起こるとされている首都直下地震における東京都が発表した被害想定が以前よりも減少したため区ごとにどのような対策を行い目標を達成するために行なっている取り組みを明らかにし、そして更に減災をするための取り組みや課題を明らかにするものである。

1 つ目の手法は土地区画整理を行い建物の密集を防ぎ避難経路を作り火災の燃え移りを軽減するという方法である。2 つ目は不燃領域率の上昇である。木密地域を整理して地震による火災の被害を軽減することを目的としている。3 つ目は広域避難する場所を明確にすることである。災害に弱い地区であると安全な避難場所がなく他の地区に避難するためあらかじめ決めておくことでスムーズに避難できるためである。4 つ目は複合災害での被害想定を作り対策を行うことである。なぜなら災害は一つずつ起こるとは限らないと考えられる。そのため想定をしておく事により迅速な対応が取れるからである。